報道発表

令和５年11月17日
名古屋税関
中部空港税関支署

令和５年１０月分　中部空港　貿易概況（速報）の要旨

令和５年１０月分について、輸出は「電気計測機器」、「航空機類」などが増加したものの、「半導体等電子部品」、「重電機器」、「半導体等製造装置」などが減少したことから対前年同月比8.4%の減少となった。また、輸入は「通信機」「事務用機器」などが減少したものの、「原動機」、「航空機類」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同 15.3%の増加となった。
その結果、差引額は１７３億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,127億円	▲8.4%	954億円	＋15.3%	173億円	▲57.0%
	10ヵ月連続の減少		5ヵ月連続の増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	（１）	電気計測機器	89億円	＋20.7%	輸入	増加品目	（１）	原動機	218億円	＋24.7%
		（２）	航空機類	14億円	＋40.3%			（２）	航空機類	50億円	＋156.1%
		（３）	自動車用等の電気機器	11億円	＋47.7%			（３）	半導体等電子部品	153億円	＋21.8%
	減少品目	（１）	半導体等電子部品	127億円	▲48.6%		減少品目	（１）	通信機	15億円	▲37.5%
		（２）	重電機器	16億円	▲69.2%			（２）	事務用機器	25億円	▲20.2%
		（３）	半導体等製造装置	30億円	▲22.7%			（３）	非金属鉱物製品	5億円	▲50.9%
	主要地域増減		アジアが減少、EU、アメリカは増加				主要地域増減		アメリカ、アジア、EUが増加		

（参考）ドルレートは、１４８．８８円（前年同月比２．６%、３．７９円の円安）であった。
（注）　月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。